

いずみ

令和7年3月27日発行
発行責任元 / 大田地区自治振興会
伊達市保原町大泉字前原内106-1
Tel 024-575-1365

大田市民学校 しめ縄作り

次の方々より多大なご遺志を賜りました。
厚く御礼申し上げます。

ご遺志

一、土屋昌規	様	御尊父	武志
一、畠 正幸	様	御尊父	武喜
一、山本幸広	様	御尊父	敏行
一、加藤元晴	様	御祖父	権蔵
一、伊藤一夫	様	御母堂	小野京子
一、福地浩司	様	御母堂	とく子
一、畑 繁夫	様	御尊父	次男
一、安田由郎	様	御母堂	サダ子
一、熊田敦平	様	御尊父	昭次
一、長谷川富男	様	御令室	幸子
一、大橋秀而	様	御母堂	ヨシ
一、野木重利	様	御母堂	利
一、福地恵子	様	御母堂	ミヨ
一、二階堂寿美子	様	御主人	忠一
一、福地正行	様	御母堂	貞子
一、津田美恵子	様	御母堂	ヤイ
一、福地正行	様	御尊父	友行
一、目黒浩正	様	御令室	佐代子
一、山本佳秀	様	御尊父	信一

令和6年度大田地区交流館特別会計決算書

収入総額 4,047,453 円
支出総額 186,080 円
差引残高 3,861,373 円 (次年度繰越)

収入の部

(単位:円)

項 目	決算額	付 記
繰 越 金	3,612,126	前年度繰越金
寄 付 金	390,000	ご遺志 19 件
雑 収 入	45,327	レンタル代 貯金利子他
合 計	4,047,453	

支出の部

(単位:円)

項 目	決算額	付 記
慶 弔 費	91,000	香典 19 件
報 償 費	6,135	謝礼
需 用 費	5,536	新聞代 消耗品
交 際 費	9,000	総会祝
負 担 金	63,929	事業不足分
備品購入費	10,480	雀卓
合 計	186,080	

上記のとおり報告いたします。

大田地区自治振興会
東城 藤吉

上記決算書は、貯金通帳・現金出納簿・領収書等
証拠書類と照合の結果適正であり相違ない事を認めます。

会計監査
森藤 哲良
遠藤 辰一

笑いについて

大田地区自治振興会

会長 東城 藤吉



今年は昨年と違い穏やかな幕開けとなり、早三か月が過ぎ、寒波の被害はありませんでしたが、今年一年間何事もない年となる事を祈るものであります。

皆様の初笑いはいどんな事で笑いましたか、大笑いそれともクスクス笑いでしたか。

笑いをひも解いて見ますと「笑いとは」人間の感情を表す手段の一つで、楽しさや嬉しさおかしさなど表現する行動であると言われている、笑いは動物の中で人間だけの特権であるそうです。

笑いにはどんな笑いがあるのか、豪かい笑、高笑い、含み笑い、泣き笑い、一人笑い、思出し笑い、照れ笑い、せせら笑い、物笑い、作り笑いなどがあります。

では笑いの効能は・・・ストレスを減らし善玉コレステロールを増やす、また脳内ホルモンが多く分泌されるためリラックス効果があるので、免疫力が上がり色々な病気の改善に役立つと言われており、作り笑いでも同じ効果になるそうです。

若い頃は何にでも笑えたのに、歳と共に

笑わなくなるのはなぜか、それは加齢により機能が衰え筋肉がこわばる為と言われています。子供の頃は一日百回以上笑ったのに二十歳を過ぎると数十回に激減し、高齢になると一、二回になり、笑わない日が多くなるそうです。高齢者は笑うことにより七歳位寿命が延びると言うデータもあり、笑うことには一害も無いので、皆さん作り笑いでも良いので心がけて笑ってみてはどうでしょうか。

今年度一年間大田地区自治振興会（交流館）の事業に対し陰に陽に皆様のご支援を賜わり、お陰様で今年度事業も大過なく終了できます事、心から感謝申し上げます。

また交流館二階には、いつでも誰でも利用出来、コーヒー、お茶を無料で飲める談話室を作りましたので、お気軽にご利用いただければと思います。

大田地区自治振興会も発足して十年を迎えました。その間試行錯誤しながら役員一同取り組んでまいりましたが、思う様な結果を残せず過ぎて参りました。

来年度は体制を立て直し、新たな決意にて地域活性化の為、頑張っ参りますので今後ともご指示ご支援のほど、お願い申し上げます。

大田地区敬老会

令和6年9月29日（日）大田小学校体育館にて敬老会を開催しました。

昨年度から敬老会実行委員会を立ち上げ各種団体、民生児童委員、町内会等の協力を頂き天候の心配もありましたが無事開催できました。

式典後、第一部として笑いヨガを開催。講師の赤間真弓さんの軽快なトークに会場は大きな笑いに包まれました。



第1部 笑いヨガ



第2部 サックス演奏会



大田 75 歳以上
597 名
(106 名参加)

第2部は伊達市内で活動するオールドブレイヤーズによるサックスの演奏会を行いました。

参加者が若い頃に口ずさんだ懐かしいメロディをサックスとトランペットが奏でます。マイクを受け取った参加者は皆さんの前で歌声を披露し大きな拍手が送られました。

昨年度より実行委員で開催の敬老会ですが、参加した方々が笑顔になり「また来年も参加しよう」と思ってもらえるような楽しい企画を考えたいと思います。

異世代間交流事業

青少年育成事業の一つ、自治振興会では毎年大田小学校児童と運動会の振替休日を利用し交流を行っています。

今年度はモルック（フィンランド発祥のスポーツ）を開催しました。

天候が悪く時間を短縮して校庭で大会を実施。大人と子供がチームを組んで優勝を目指します。

心配した雨が降り出したので急いで表彰式1位から3位までは賞品が渡され、参加した児童にも参加賞が配られました。

「もっとやりたかった」と子供たちまた来年も参加して上位を目指してほしいと笑みがこぼれました。



大田地区自治振興会活動報告（期間：R6. 3月～R7.2月）

月	日	開催内容	担 当	月	日	開催内容	担 当
3	7	特別会計監査会	監事 / 事務局	9	29	敬老会	敬老会実行委員会
	16	ドローン講習会	生活防災委員会		1	大田婦人学級（花てまり作り）	事務局
	22	大田ふるさと大学（発掘報告会）	事務局		19	県防災訓練参加	健康福祉、生活防災
4	4	令和5年度会計監査会	監事 / 事務局	10	19	大田地区文化祭	事務局
	10	令和5年度総会について	役員会		20	大田地区文化祭	事務局
	26	令和5年度総会	代議員 / 役員		24	大田ふるさと大学（化粧塚）	事務局
5	15	大田地区の課題につて	大田塾	11	28	異世代間交流事業（モルック）	総務企画委員会
	30	大田市民学校（相続登記）	事務局		30	パークゴルフ体験会	健康福祉委員会
6	7	R6 年度敬老会について	敬老会実行委員会		17	防災研修会	生活防災委員会
	27	大田ふるさと大学（舟山庄蔵）	事務局	12	21	認知症カフェ	健康福祉委員会
7	17	懇親会	大田塾		13	実施事業報告会	役員会
	22	R6 年度事業実施計画について	役員会		18	大田市民学校（しめ縄づくり）	事務局
8	5	よりあい処利用開始	事務局	2	24	大田市民学校（ミニ門松づくり）	事務局
	11	サマーフェスティバル参加	大田塾		27	大田婦人学級（歌声講座）	事務局

大田地区防災研修会

令和6年11月17日、大田地区自治振興会の生活防災委員会では、毎年開催している防災研修会を行いました。

伊達市消防組合の協力を頂き、各町内会の自主防災組織の方々と自治振興会関係者を対象に、今年度は起震車による体験会、消火訓練、AED（心肺蘇生）の訓練を大田地区交流館にて実施しました。

伊達市消防組合の職員から、防災に對しての心構えや相互扶助のあり方などの講話後、3班に別れ体験と訓練を実施しました。



起震車による
関東大震災クラスの
揺れを体験



起震車は利用要請が多く、各地域でも体験会が行われています。

水消火器による
消火訓練



秋から冬へと乾燥する季節を前に消火訓練も行いました。

消火器が自宅にあっても練習することはできない為、訓練用の水の入った消火器を準備してもらい噴射前に行う

①レバー止めのピンを抜く②ホースを外す③炎に目掛けレバーを握るといいう単純な作業ですが火災発生時のパニックの中、やはり経験があるのと無いのでは段違いです。

患者の状態の確認
気道確保
心臓マッサージ
AED使用



和室ではAEDの操作と心臓マッサージ方法を学びました。経験者も多くいましたが、いざと言う時のために参加者は真剣に取り組んでいました。

平成23年の東日本大震災から13年の時が過ぎ、あの思いを二度と味わいたくはないと思いますが、天災についてはいつどこで発生するか誰にも予測は出来ません。

あの時の体験を風化させず普段の生活から備える事の大切さを改めて感じました。

文化財防火デー

四分団分団長 畑勇治

1月26日午後、金原田北原町内にある積善寺において、模擬火災訓練が行われました。これは、文化財防火デーに基づく訓練であり、伊達市消防団保原支団として毎年実施されている防火訓練となります。今回は四分団（大田地区）の消防団員が主体となって実施されました。

文化財防火デーは、昭和24年1月26日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺（奈良県）の金堂が炎上し、壁画が焼損したことに基づいています。



積善寺の庫裡への放水訓練の様子

1月と2月が1年のうちで最も火災が発生しやすい時期であることから、昭和30年に、1月26日を「文化財防火デー」と定め、文化財を火災、震災などの災害から守るとともに、国民一般の文化財愛護に関する意識の高揚を図ることを目的としています。



この日は総勢60名が参集し、中央消防署のポンプ車が出動し、常備消防と消防団の相互の連携を確認しながら、実際の放水訓練が行われました。

また放水訓練終了後、北原町内の住民の方々には、消火器を使った消火訓練を体験して頂きました。

この訓練を機会に、地域住民の方々の防火防災意識が更に高まることを期待しています。

パークゴルフで交流

10月30日（水）前日の雨が芝生を湿らしコンディションは万全とは言えませんが、大田地区自治振興会の健康福祉委員会主催のパークゴルフを開催しました。常に保原総合運動公園で経験されている方、初心者問わず参加者は26名でした。



濡れた芝生でのボールは転がらず、水たまりもあり参加者は苦戦されましたが、午前中を利用して、各々のチームでプレーし、和気あいあいと楽しく交流が行われたと思います。